

祝日が追加された場合の スケジュール運転休止方法について

ESMPRO/AutomaticRunningController 関連製品

2016/1/1 に新しい改正祝日法が施行され、8/11 が山の日として国民の祝日になりました。

また、今後は元号とともに天皇誕生日の日付が変更されることが予想されます。

現在出荷中の ESMPRO/AutomaticRunningController 関連製品では、スケジュール運転の際に祭日休日指定機能を設けておりますが、新しく追加される国民の祝日は認識しておりません。

スケジュール運転で新しく追加される祝日を休日として運転休止する場合、新たにスケジュール運転の登録を行っていただく必要があります。

製品名
ESMPRO/AutomaticRunningController
ESMPRO/AC Enterprise
ESMPRO/ACBlade 管理オプション
ESMPRO/AC Advance
ESMPRO/AutomaticRunningController for Linux
ESMPRO/AC Lite for VMware
SigmaSystemCenter/電源管理基本パック

以降では、上記製品を ESMPRO/AC と総称して説明します。

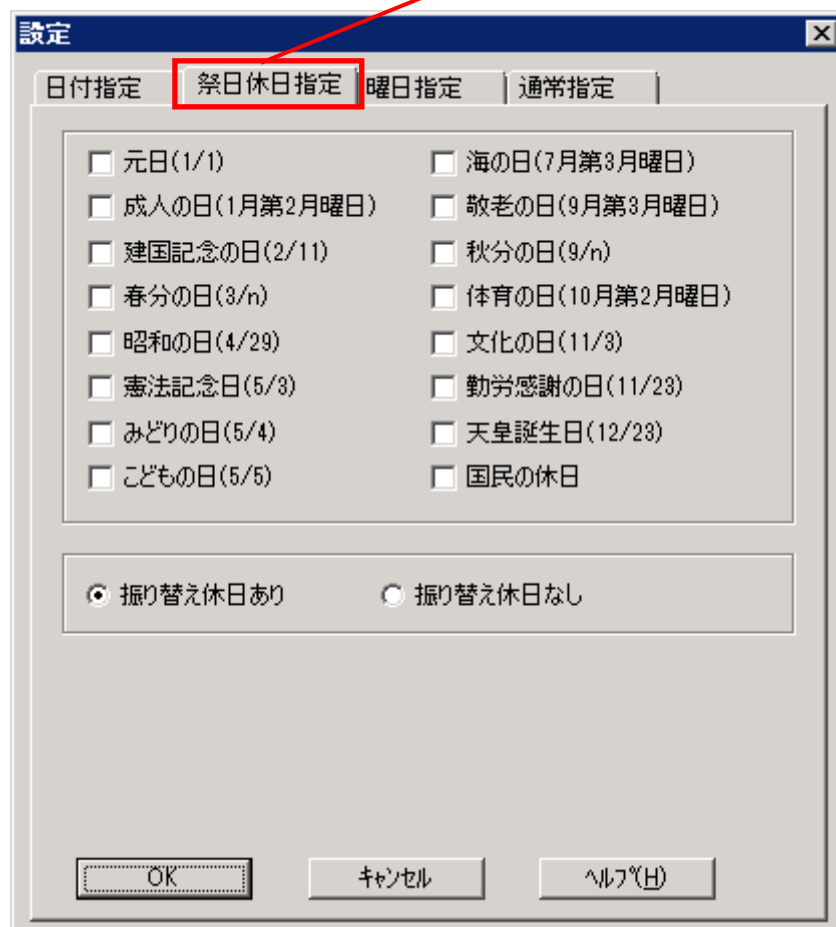
1. 改正祝日法の影響

ESMPRO/AC 関連製品ではスケジュール運転機能を提供しており、GUI のスケジュール設定画面では「祭日休日指定」タブにおいて、祭日休日のスケジュール運転を休止できるようになっています。しかし、現在出荷している ESMPRO/AC 関連製品の GUI では、「祭日休日指定」タブに新しく追加された祝日は表示されません。

ここでは、ESMPRO/AC Ver.5.2 で 2016/1/1 に新しい改正祝日法が施行され、新しく祝日として追加された山の日 (8/11) の運転休止方法を説明します。

最新版の ESMPRO/AC では、祭日休日指定機能に山の日を新たな祝日として認識して運転休止できるよう対応は行っておりますが、山の日 (8/11) が祝日として新たに追加されたものと仮定しております。

「山の日 (8/11)」が祭日休日として認識されておらず、表示されません。



2. 対策

ESMPRO/AC 関連製品でスケジュール運転機能を利用しており、山の日 (8/11) を休日として運転休止する場合には、GUI のスケジュール設定画面の「日付指定」タブにおいて、8/11 を運転休止とする設定を行っていただく必要があります。

<カレンダー入力を使用する場合>

設定

日付指定 | 祭日休日指定 | 曜日指定 | 通常指定

カレンダー入力: 使用 未使用

2016年 08月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

運転時間 運転休止

投入時刻: 時 分

切断時刻: 時 分

コメント: 山の日

OK キャンセル ヘルプ(H)

<カレンダー入力を使用しない場合>

設定

日付指定 | 祭日休日指定 | 曜日指定 | 通常指定

カレンダー入力: 使用 未使用

2016年 07月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

運転時間 運転休止

投入時刻: 16年 8月 11日 時 分

切断時刻: 16年 8月 11日 時 分

コメント: 山の日

OK キャンセル ヘルプ(H)

「日付指定」タブで設定した 8/11 の運転休止情報は、スケジュール画面で以下のように表示されます。

スケジュール

スケジュール表示 | カレンダー表示

スケジュール有効期間: 2016年05月から2026年04月まで 変更(C)

運用スケジュール グラフィック(G)

16年08月11日 運転休止 山の日
通常 09時00分から17時00分まで

設定(S) 修正(R) 削除(D)

OFF->ONが1分差のスケジュールは、レポートと認識します。

OK キャンセル ヘルプ(H)

スケジュール画面で表示されたスケジュール運転内容に問題ないことを確認後、スケジュール画面の「OK」をクリックしてスケジュール運転内容を有効にしてください。

その後、メイン画面の「OK」をクリックし、変更したスケジュール内容を直ちに反映してください。



- ※ ESMPRO/AutomaticRunningController for Linux や ESMPRO/AC Lite for VMware を使用しており、Windows 上の GUI で作成したスケジュール情報を Linux OS 等へアップロードして運用する場合、作成したスケジュールファイルを再度アップロードする必要があります。
アップロードの詳細については、各製品のマニュアルを参照してください。